



余暇 事情

JETRO



インド ニューデリー BOP実態調査レポート

休日の過ごし方

インドにおける休日や休暇の過ごし方は、社会的・経済的な階層によって異なっている。組織部門(Organized Sector)* で働く人々は家族等と過ごし、他州からの出稼ぎ者は帰省する。一般には、家族や友人、親族と、買い物、映画、レストランに出かけたり、テレビを見たり、社交的活動に参加したりして過ごすことが多い。中産階級以上の場合は、よく国内外の観光地に出かけて休日を過ごしている。

ただし、ヒンズー教新年祭やイード(イスラム教の祝日)などの祝祭日には、家を清掃して飾り付け、新しい服を着て祈りをささげ、親族や友人宅を訪問し、近所や親しい人にお菓子を配る。個人的に楽しむ読書やゲーム、趣味でのコンピュータの使用に費やす時間は、年齢層によって大きく異なる。

低所得者の場合、休日の過ごし方としては映画を見る、音楽を聴く、トランプをする、市場に出かける、家族や友人・親族と祭りのお祝いをする、巡礼に出かけるなどがある。



*

組織部門とは、すべての公共企業及び農業以外の10人以上を雇用する企業のこと。非農業部門の10人以上を雇用する組合、団体、同業者組合も含まれる。一方、非組織部門とは、組織部門未満の規模の場合や、労働者が臨時雇用の場合、あるいは何らかの理由で労働者共通の利益を追求する組織に参加できない労働者と定義されている。

組織部門

被雇用者は年に最低10日の休日がある。一部の休日は被雇用者の宗教や働く州によって異なっている。共和国記念日(1月26日)、独立記念日(8月15日)、マハトマ・ガンジー誕生日(10月2日)の3日間は、国民共通の祝日となっている。この日は、すべての機関が必ず休日とすべきものとされている。

JETRO

■休日

一般的に、就労日はすべての部門で週6日である。ただし週5日勤務の会社もあり、主に銀行を除くサービス部門に多い。通常、週休1日の場合は日曜、週休2日の場合は土曜と日曜が休日になっている。年中無休の職種や緊急業務、公共サービス、フレックスタイム制の場合は、休日は固定されておらず、業務スケジュールに応じて休みを取る。

■休暇

被雇用者の勤務時間、休暇、その他の勤務条件は、該当部門に適用される各労働法の規制の対象となる。例えば、製造に関わる工場は工場法に定められた規則に従う必要があり、鉱山は鉱山法に、プランテーションはプランテーション労働法に基づいて定められた業務規則に、サービス部門の者については商店および商業施設法に従わなければならない。

各労働法は休暇に関する事項、例えば分類やタイプ、取得資格、期間等を定めている。雇用契約においては、労働組合が雇用契約の策定に関与し、労働組合と協議の上、休暇に関する規則を定めている。こうしたきめ細かな協議は、勤務条件を執行するために制定された工業雇用(就業規則)法で定められている。

休暇の分類は、有給休暇、臨時休暇、病気休暇、出産休暇、特別休暇、無給休暇、代休などのように企業や組織によって異なる場合が多い。

休暇	期間	給与
有給休暇	年30日、最大繰越日数は300日	全額
臨時休暇	暦年ごとに14日	全額
病気休暇	最長3カ月	全額、その後半額
出産休暇 (女性従業員のみ)	最長180日 流産・中絶の場合6週間	全額
特別障害休暇	最長24カ月	120日間全額、その後半額
研究休暇	1回につき12カ月 勤続期間中に24カ月	インド国外の場合は全額。 インド国内の場合、奨学金／給付金 ／非常勤給与が支給されない時に給与の支払いが認められる。

■非組織部門

インド労働省によれば、労働人口の90%以上が非組織部門で働いている。これらは自営や、免許や登録不要のあらゆる経済活動が含まれ、例えば雑貨屋、手工芸・手織労働者、行商人、農民、作業員、家政婦、警備員、建設労働者、縫製工、靴修理工、運転手等々数多くある。

これらの労働者は、週に7日、または仕事がある限り働くため、休日や休暇という概念は当てはまらない。祝祭日や国民の祝日にさえ働いている。ただし、家族の行事や宗教上の祝祭日には休みを取る。休暇が取れるかはどの地域で働いているかによることもある。例えばオフィス街に店を開いている露天商の場合、オフィスの休日の日曜に休暇を取る。そうでない場合は地域の同業者組合や地区の役所の基準に従う。

JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。